

高鍋

177号 令和6年3月議会

議会だより



一般・特別会計等予算 … P2～P3
委員会視察他 …………… P6～P7

可否表・常任・特別委員会審査 P4～P5
一般質問 …………… P8～P15

みんなやっおるね

まちの光 第6回 高鍋城址桜まつり実行委員会の仲間たちno春編

●高鍋町の桜まつりとは、昭和28年(1953)から毎年開催され、今年で71年目を迎える歴史ある春のお祭りです。現在、高鍋城址での桜まつりは、『桜と人と暮らふと』と題し、高鍋町が歴史ある城下町であったことを現代風に再現し、歴史を感じつつ、新たな形で高鍋町を表現することを目的に開催され12年目を迎えています。これら町内のイベントを支えているのが実行委員会の素晴らしい仲間たちです！



1. 実行委員会の仲間は春のイベントを経験後、町内の各種イベントに大きな力を発揮します。



2. ①会場づくり：階段の蛇の目傘 ②店舗づくり：これこそみんなの協力なしには完成しません。



3. ①店舗づくりが終わったら、みんなで出店作家さんの荷物を各店舗に運ぶお手伝いをします。
②出店準備が整ったら、今度は担当する場所に移動し、会場のお客様の安全を守ります。

●実行委員会のメンバーは、役場・商工会議所・観光協会職員で構成されています。

編集後記

今年もあつという間に三月となり、令和六年第一回定例会が開催されました。今回、高鍋高校の18名の生徒さんに授業の一環として議会の傍聴に来ていただきました。現在、政治離れと言われている中で、高校生の傍聴は議場の雰囲気を一変し、私たち議員も真剣み溢れる姿で議会に臨んでいました。高校生の傍聴は、こんなにも人の心をリフレッシュさせ、新しい課題へ挑戦する力を与えてくれるのだと感じる議会となりました。生徒の皆さん傍聴本当にありがとうございました。是非、皆様も傍聴にお出でください。(加藤秀文・記)

表紙写真 舞鶴公園の桜まつりイベントの様子

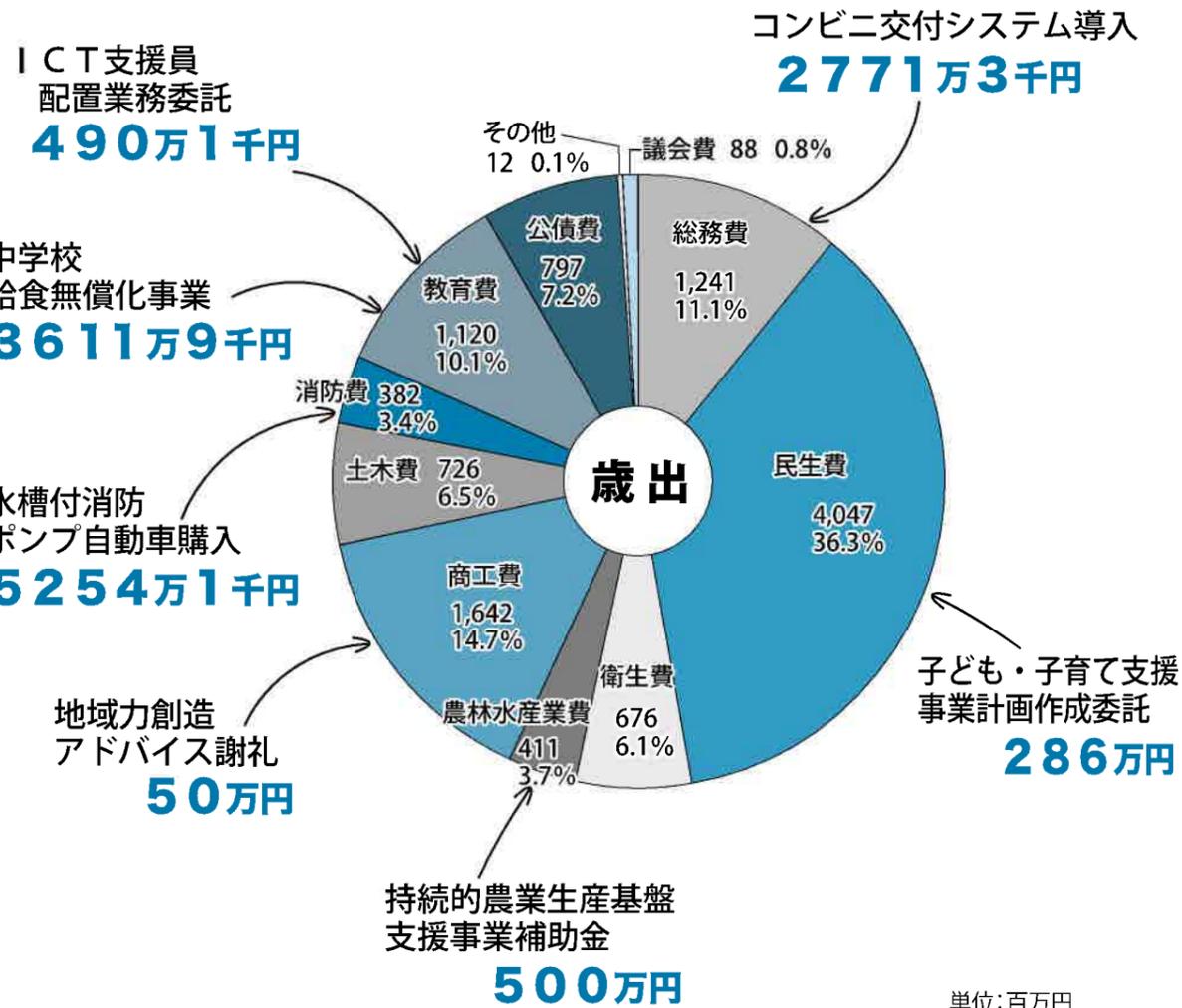
議会広報編集特別委員会

委員長 兒玉秀人 委員 森崎英明
副委員長 榎原富子 橋 重文
森 弘道
加藤秀文

令和6年度 一般会計当初予算 111億4200万円

第1回定例会が3月4日に開会し、19日に閉会しました。今定例会では、教育委員の任命など同意4件、の廃止・一部改正・制定14件、令和6年度一般会計・特別会計当初予算など33件が提出され、原案通

諮問1件、令和5年度補正予算5件、条例(前年度比約4億9700万円増)り可決しました。



単位:百万円

※令和6年度新規事業です。

令和6年度 特別会計等予算

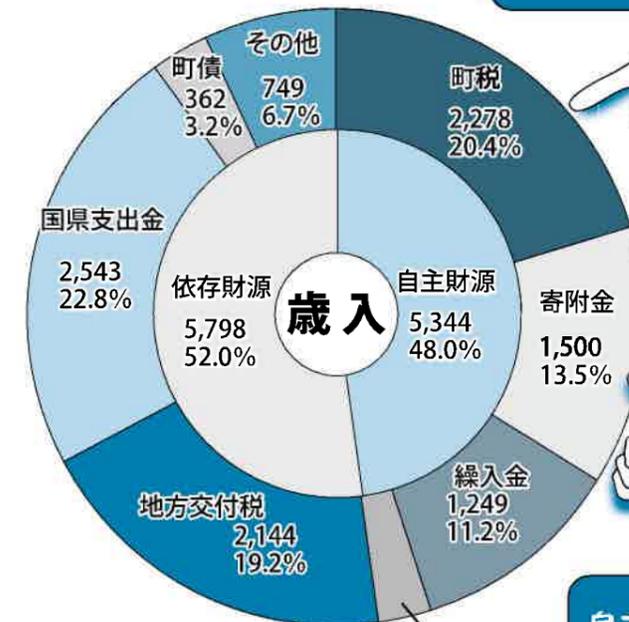
- 下水道事業..... **3億3949万6千円**
- 水道事業..... **5億4588万6千円**

主な新規事業 令和11年度までの6カ年で老瀬浄水場を廃止し竹鳩浄水場へ統合する第4次拡張事業(仮称)が実施される。

令和6年5月発行(第177号)

Answer-1
前年度比約1億6400万円の増は、太陽光発電施設の新規課税と誘致企業の課税免除期間の終了によるものです。

Question-1
町税が増えたのは、どうして?



Answer-2
常に危機感を持ちながら財政の健全化及び安定化に努めます。

Question-2
自主財源の中に寄附金(ふるさと納税)15億円を入れているけれども、大丈夫?

単位:百万円

※吹き出しは、総括質疑の内容と回答を要約したものです。

- 国民健康保険..... **23億2194万7千円**
- 介護保険..... **19億3256万4千円**
- 後期高齢者医療..... **6億2931万4千円**
- 一ツ瀬川雑用水管理事業..... **2404万8千円**
- 介護認定審査会..... **1040万7千円**
- 西都見湯固定資産評価審査委員会..... **19万7千円**

高鍋議会だより

令和6年 第1回臨時会 可否表

議案名	(○賛成 ×反対 一欠席) ※議長は採決に加わりません															
	1 白高	2 森崎	3 橋	4 春成	5 兒玉	6 中村	7 田中	8 森	9 加藤	10 櫻原	11 松岡	12 緒方	13 吉川	14 水友	15 友友	16 友友
議案 1 令和5年度高鍋西中学校浄化槽改修工事請負変更契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 2 令和5年度高鍋東小学校第1棟防音機能復旧(空調・換気)工事(機械・建築)請負変更契約について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 3 高鍋町手数料徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 4 令和5年度高鍋町一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和6年 第1回定例会 可否表

議案名	(○賛成 ×反対 一欠席) ※議長は採決に加わりません															
	1 白高	2 森崎	3 橋	4 春成	5 兒玉	6 中村	7 田中	8 森	9 加藤	10 櫻原	11 松岡	12 緒方	13 吉川	14 水友	15 友友	16 友友
議案 5 令和5年度高鍋町一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 6 令和5年度高鍋町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 11 高鍋町課設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 24 令和6年度高鍋町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 25 令和6年度高鍋町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

以下の議案は、全員賛成で可決されました。

同意 1 教育委員会委員の任命について
同意 2 西都児湯固定資産評価審査委員会委員の選任について
同意 3 西都児湯固定資産評価審査委員会委員の選任について
同意 4 西都児湯固定資産評価審査委員会委員の選任について
諮問 1 人権擁護委員の推薦について
議案 7 令和5年度高鍋町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
議案 8 令和5年度高鍋町介護保険特別会計補正予算(第4号)
議案 9 令和5年度高鍋町下水道事業会計補正予算(第4号)
議案 10 国営造成施設管理体制整備促進事業の事務の委託の廃止に伴う規約の廃止について
議案 12 高鍋町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
議案 13 高鍋町介護保険条例の一部改正について
議案 14 高鍋町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案 15 高鍋町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について
議案 16 高鍋町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について
議案 17 高鍋町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案 18 高鍋町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案 19 高鍋町空家等対策の推進に関する条例の一部改正について
議案 20 高鍋町水道事業給水条例の一部改正について
議案 21 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
議案 22 高鍋町情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定について
議案 23 高鍋町犯罪被害者等支援条例の制定について
議案 26 令和6年度高鍋町後期高齢者医療特別会計予算
議案 27 令和6年度高鍋町介護認定審査会特別会計予算
議案 28 令和6年度高鍋町介護保険特別会計予算
議案 29 令和6年度高鍋町一ツ瀬川雑用水管理事業特別会計予算
議案 30 令和6年度西都児湯固定資産評価審査委員会特別会計予算
議案 31 令和6年度高鍋町下水道事業会計予算
議案 32 令和6年度高鍋町下水道事業会計予算
議案 33 令和5年度高鍋町一般会計補正予算(第12号)
議案 34 令和6年度高鍋町一般会計補正予算(第1号)

令和6年 第2回臨時会 可否表

全員賛成で可決されました。

番号	件名
議案 35	専決処分の承認を求めることについて(専決第1号)[高鍋町税条例の一部改正について]
議案 36	専決処分の承認を求めることについて(専決第2号)[高鍋町国民健康保険税条例の一部改正について]
議案 37	専決処分の承認を求めることについて(専決第3号)[令和5年度高鍋町一般会計補正予算(第13号)]
議案 38	高鍋駅舎大規模改修工事請負契約について

◆常任委員会審査◆ (本会議から付託された、議案や請願などについて審査を行います)

総務厚生常任委員会

高鍋町課設置条例の一部改正について

本町の防災、消防、防犯等の機能を強化し、町民の安心・安全のさらなる確保を図る観点から、令和6年4月1日から新たな課を設置するため、条例の一部を改正するもの。
高鍋町情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定について

書面等により行うこととされている行政手続きについて、情報通信技術を利用する方法により手続き等を行うことと、町民等の利便性の向上や行政運営の効率化等を図るために必要な事項を定めるもの。

高鍋町犯罪被害者等支援条例の制定について

身近な行政機関として犯罪被害者等に支援の手を差し伸べ、寄り添う町の姿勢を示し、支援金の支給など、常に一定の水準の施策と支援につながるようにするもの。

令和6年度高鍋町一般会計予算

コンビニ交付システムとは。

住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の証明、戸籍附票、所得証明書、所得課税証明書、課税証明書の7種を、町内のコンビニで発行できることとするもの。年末年始以外は、休日であっても、早朝6時半から23時まで稼働することになるが、休日は戸籍関連の2種の発行はできない。

令和6年度からの児童手当の制度の拡充見直しとは。

支給対象を高校生まで引き上げ、第3子以降は一律で支給額を3万円に引き上げ、所得制限をなくし、親の所得額に関係なくすべての子を対象に支給するというもの。

放課後児童健全育成事業委託費の増額は。

西小放課後児童クラブを1支援単位増設する予定があるため。

子どもの居場所支援事業委託費の増額は。

「まちなかコロポ」の運営委託料で、令和6年度から開設時間を18時まで延長するため、職員を増員を予定しているため。

文教産業建設常任委員会

令和6年度一般会計予算

地域おこし協力隊令和5年度成果について

事業所委託型を昨年から行っているが移住・定住に関して東京まで同行し活動。またインターネットで高鍋町の観光サイトを利用し町のPRを行い良い方向に進みだしている。ITセンターの運用内容について

業者委託し、小学生・中学生などのプログラミングを教えている。併せて高齢者への脳トレや高校生への対応も行う事としていたが、さらに利用できるよう企画していきたい。

町道の維持管理に関する町民の要望について

自治公民館長から、場所と写真等の提供があれば有り難いと考えている。しかし、要望箇所は誰からであろうと調査を行い対応したい。

ブッシュチョッパー導入について

予算を検討したが調査の結果、維持管理費が高く導入は難しい。

中学校給食費の無償化について

保護者の負担軽減のため今年度から給食費を全額補助する。

学校環境現状について

学校建物の老朽化に伴う改修工事、修繕費の予算が、多く計上されているが、子ども達が安心して学べる学校施設の環境整備が優先課題である。学校の長寿寿命化が進んでいないのは、高鍋町が言う文教の町とは言えないと文教産業建設常任委員会委員全員の意見の一致をみた。

高鍋町持続的農業基盤支援事業について

地域農業担い手に対して、持続可能な農業生産基盤の構築を図るため町内の移住者又は事務所を設置する認定農業者を対象に、農業機械・農業施設に係る経費の2分の1以内(上限50万円)を助成する。

◆特別委員会審査◆ (必要がある場合において議会の議決で置くことができます)

特別会計予算及び条例審査

高鍋町介護保険条例の一部改正について

保険料標準段階が9段階から13段階に改正される。第1段階から第3段階の方は保険料率が軽減され、新たに設けられた第10段階以上の方の保険料率は第5段階の基準額の1.9から2.4倍となる。また、保険料は約4%の増額改定となるが、減額賦課基準の改定も行われるため、第3段階の方までは軽減となる。

高鍋町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

ケアマネージャー1人当りの取扱件数は、これまでの35人から44人まで担当出来ることになる。

令和6年度高鍋町国民健康保険特別会計予算

特定健診の受診率60%に合わせた予算編成となっている。効果的・効率的に保健事業を行うために策定するデータヘルス計画は6年度から11年度までの6年間となっている。実行可能な目標を検討しており、今年度から集団健診の日数を1日増やし、うち2日間は持田地区高齢者福祉センターで行う。夕方健診、乳がん子宮がん検診も同日に受診できるようにレディース検診日も設ける予定。

令和6年度高鍋町後期高齢者医療特別会計予算

保健事業費の集団健診、個別健診の日程は特定健診と同様であるが、健診項目に糖尿病の重症化予防に着目した検査を追加したことにより事業費が昨年度より増加している。また、夕方健診の時間は16時から19時としている。

令和6年度高鍋町一ツ瀬川雑用水管理事業会計補正予算

今年度は、7年に1度のメーター機器交換の年であり、メーター機器代と更新作業手数料が増加している。また、5年ごとに国営施設使用料の見直しが行われており、6年度から増額となっている。

総務厚生常任委員会視察



いろいろな機器を移転する必要がある高鍋駅改修



工事が始まる高鍋駅

文教産業建設常任委員会視察

ITセンター(たかしんホール)と VIVA CAGUCCI (蚊口浜)



高齢者への開放など利用日を増やしてほしいITセンター

eスポーツの取り組みが、始まったVIVA CAGUCCI



全国町村

議会議長会表彰

特別功労者として県内2名の内永友良和議長が表彰されました。



永友良和氏

人事

○教育委員会委員

野崎 憲次氏

○西都児湯固定資産評価審査委員会委員

日高 省吾氏
福嶋 良一氏
川野 和成氏

○人権擁護委員

下園 順子氏

高校生傍聴アンケート(18名)



- 今回参加したことについてどう思いますか。
 - とても良かった……(15) よかった……(3)
 - これからも議会の傍聴をしてみたいと思いますか。
 - ぜひまたしてみたい(10) 機会があったら(7)
 - どちらともいえない(1)
 - 議員と町長・職員とのやり取りについて。
 - 非常にわかりやすかった(6) 分かりやすかった(8)
 - どちらともいえない……(2) 分かりにくかった(2)
 - 町政や議会への関心や理解は深まりましたか。
 - とても深まった……(10) 深まった……(8)
 - 議員になって高鍋町のために何かしたいと思えますか。
 - ぜひ議員になり何かしたい(2) 議員になってみたい(6)
 - なりたいたとは思わない……(7) 絶対なりたくない……(1)
 - わからない……(2)
 - 18歳になったら選挙に行こうと思えますか。
 - ぜひ行きたい……(10) 行ってみたい……(7)
 - わからない……(1)
- 感想
 - ・難しい内容でしたが、自分に深くかかっている内容については、とても聞いてよかったです。
 - ・「こつやっ」といっている決まるんだなと思った。

議会傍聴アンケート

第1回定例会に、傍聴にいられた方にアンケートをお願いしました。

《傍聴者は延べ59名》

- ◆これまで議会を傍聴されたことがありますか。
 - 初めて……(3) 2回目……(4)
 - ときどき行く(8) よく行く……(4)
- ◆議会の開催をどのようにお知りになりましたか。
 - 一般質問のお知らせ……(8)
 - ホームページ(6) 新聞……(0)
 - 議員から……(4) LINE……(1)
 - その他……(1)
- ◆議会傍聴の目的・理由について。
 - 議会に関心がある……(9)
 - 町政に関心がある……(11)
 - 議案や質問内容に関心がある……(10)
 - 各種団体や知人に誘われた……(1)
 - その他……(0)
- ◆議員の発言内容はよくわかりましたか。
 - よくわかった……(10)
 - おおむねわかった……(5)
 - 全く分からなかった……(1)
- ◆答弁者(町長・職員等)の発言内容はよくわかりましたか。
 - よくわかった……(7)
 - おおむねわかった……(7)
 - 全く分からなかった……(1)
- ◆今回、傍聴されてお気づきの点がございましたら、ご記入下さい。(一部抜粋)
 - ・高鍋町議会の雰囲気がとても良いと思った。
 - ・議員が町民のためにいるんな提案、時には厳しい言い方をされていたが、町民のために何が必要なのか考えて質問されていた。
 - ・町をより良くしようと議員、町長、役場の皆さんがいろいろ考える、住みよい町だと思った。

Question

「どうする食糧自給率」

「宮崎県は60%」

Answer



なかむら すえこ
中村末子 議員

問 日本は食糧自給率は、38%で先進国では最下位である。自国の国民が食べる食糧自給率はせめて75%は必要だと考えるが、

町長 食料自給率はカロリーベースで38%であるが国は公表している。昭和40年頃は73%あったようだが、年々減少している。



農業委員会
食糧は生きる為

問 食糧は生きる為である。自然環境を利用して農業は、生産量に変化はあるものの、国内で生産できるものはできる限り国内生産をして食糧自給率の向上を図ることが重要と考えている。

問 自治体に対してどのような農業支援があれば良いとお考えか。

農業政策課長 農業従事者が減少すればたちまち遊休農地が増え、食糧の生産ができなくなると懸念されるので、新規就農者の農業経営に対する補助をしっかりと国は考

Question

「高鍋町の公助・共助・自助の課題は」

「公助には限界がある 自助・共助が重要」

Answer



こだま ひでお
児玉秀人 議員

問 木造建築や空き家など地震の際に倒壊し火災の原因となることも考えられるが、対応はあるのか。

建設管理課長 木造建築については耐震診断補助として13万円。危険と判断された場合は耐震化について100万円を限度に補助がある。

問 木造建築で国登録有形文化財の旧吉田家住宅などの防災はどのようになっているのか。

総務課長 補助を実施している他市町村の着用状況等を把握し、助

問 自転車のヘルメットについて

総務課長 補助を実施している他市町村の着用状況等を把握し、助

問 都会周辺自治体では消費地があり、消費地が遠く運搬に際してなど補助制度はあるのか。

農業政策課長 物流の停滞が懸念される2024問題に対して国は対策本部を設けている。県では2年前に物流DX推進協議会を令和2年に立ち上げています。

問 有機農業の米単価はどの位で取引されているのか。

農業政策課長 通常の2倍以上の金額で取引されている。しかし、生産

社会教育課長 木造建築の文化財について耐震改修は実施されていない。今後個別に検討していく。

問 公民館に対して、食料や携帯トイレ、発電機、蓄電池等の備品の購入助成はできないか。

総務課長 自主防災組織と自治公民館の防災活動に必要な整備の経費を対象として補助金を交付している。

問 自助の取り組みとして発電機や携帯トイレ等の購入補助はできないか。また、家族全員が避難したことを示す黄色いハンカチの配布はできないか。

総務課長 購入補助については他自治体の事業等を参考にしていく。黄色いハンカチ配布は考えていないが、鳴野地区

では、黄色い旗を全戸に配布し、避難時玄関先に差し込む仕組みを整えている。

問 町の防災士の数と防災士の役割を自覚するシステムはあるのか。

総務課長 防災士の数は1町独自に防災士フオロアップ講座を開催している。

問 津波ハザードマップの表示がないが、河川津波への対応はどのようにしているのか。

総務課長 河川津波について、避難の心得として川に対して垂直方向に避難するよう注意を促している。今後、河川津波についてマップ上の情報強化や掲載の工夫を検討していく。



高鍋町津波ハザードマップ

成制度の効果は今後調査・研究をしていく。

問 今外国では、日本のお米にぎりがすくく人気があり、お米の輸出がある。特に日本のお米は安全、安心という事でヨーロッパでは高い値段で取引されていると聞いている。輸出へも力を尽して頂きたい。農作物の出荷についてはどうか。

農業政策課長 児湯農協出荷に野菜で9割、露地野菜は2割となっている。残り

※教育問題と町長の施政方針について質問を行いました。



Question

九州防衛局に「どのような要望をしたのか」

Answer

橋 重文 議員



問 「F35B飛行隊」の追加配備方針を知っていたのか。

町長 昨年末に防衛施設局から説明を受けた。

問 防衛施設局は、住民（特に騒音指定区域）への説明会は、予定はない。

町長 機種転換すると騒音の変化は、F35Bの通常の離陸時の騒音値は、米国防府から提供された騒音データに基づく推計では、F15Eより2

約3%程度高い。騒音指定区域の変更は、

問 変化について確認し、地元とも相談しながら騒音調査の実施の可否も含め実態に合わせた対応を検討。騒音指定区域内の地区公民館への防音対策の要望は、対象外であるが、個別に相談。九州防衛局の説明時、要望はしたのか。

町長 騒音区域の見直し・騒音対策、安全安心対策・周辺自治体の活性化対策を要望した。

問 ◆永住したい「宮崎県の街」について

町長 永住したい宮崎県の街1位になったが、幸せを感じ住み続けたいと思うまちづくりに取り組ま

高鍋町におけるアカウミガメの上陸・産卵回数は、

問 令和5年上陸46回産卵29回（下永谷海岸分計上なし）。アカウミガメ産卵地の海岸保護は、

町長 ボランティア等による清掃後のごみ回収。

問 高鍋土木事務所へ海岸の流木の処分を依頼出来ないか。

町民生活課長 検討されている。砂に埋もれた流木等の掘り出し、運搬車両を出すことは、行っていない。

問 ビーチクリナー導入は、

町長 考えていない。

問 ◆スポーツキャンプの誘致について

町長 これまでのスポーツキャンプの

かとう ひでふみ 議員



問 南海トラフ等が発生した場合、最大震度は7を想定し、本町の津波ハザードマップは策定している。

町長 現在指定されている避難所や避難場所の数、また今後候補として考えられている施設は何箇所あるのか。

総務課長 指定避難所15箇所、一時的に身を護るための指定緊急避難所は津波避難タワーや避難ビル等54箇所。指定緊急避難所として必要な

「能登半島地震から学ぶ」本町の災害対策について

Answer

加藤 秀文 議員



要件を備える施設については随時調査を行っている。

問 水道配管などの老朽化はどこでも考えられる問題だが本町の状況はどうか。対策は、

町長 基幹管路として口径200mm以上の排水管の総延長16,746mの内7,499mが耐震管へと切り替わっている。大規模災害への備えは、竹嶋浄水場に国の緊急時給水拠点整備事業で整備した1,600m³強のステンレス製排水池があり緊急給水口が5箇所設けられ給水車などへ直接の給水が可能。個人が携行できる給水袋9千袋を用意し、給水戸数約8千7百戸に対応できる準備は整っている。また、県内各市町村水道事業者が管理する水道施設で災害が発生した場合、飲料水の提供を相互応援する協定も締結している。

問 ◆空き家対策に関連する庭木の問題について

町長 樹木が歩行者及び車両等が通行する際、妨げとなっている等住民からの苦情や相談は無いのか。

建設管理課長 ここ数年毎年20万件を超える相談がある。

問 今後も空き家対策と同時に、庭木の問題が発生すると考えるが、早急に解決する方法・対策はあるのか。

建設管理課長 地権者に適正に管理していただくよう文書でお願いし自治公民館等と連携を取りながら対応したい。

問 ◆健康寿命について

町長 健康寿命を延ばす取り組みは現在何か行っているのか。

健康保険課長 様々な介護予防教室の他、高齢者お助けボランティア

「行政と町民がよきパートナーとしての町づくりは」「町民との対話集を開くことが重要」

Answer

状況は、

課長 平成19年年度以降61団体。経済効果は、

問 昨年約2600万円。

課長 野球以外のスポーツキャンプ施設は、総合体育館、テニスコート、弓

道場など。それらの施設を使用する誘致は、屋内競技誘致の取組を行う。

問 誘致は経済効果に繋がると思うが、

町長 直接的な経済効果が期待できる。キャンプ以外の手法によるスポーツ誘客について



も検討したい。

町長 行政事務連絡員会、各団体が開催される会合や行事等の機会を活用して町民の皆様等と積極的に意見交換を行っているので、対話集を開く計画はできないと考えている。

問 目指すべき町の姿をつくるために町民の方々の協力をどのように得るのか。

町長 各種の計画策定の際にも関係団体の代表者や公募により選考された町民の方にご協力を頂いている。これからも共に取り組んでいきたいと考えている。

事業等を行っている。

提案 うきはの宝株式会社（福岡県うきは市）は、75歳以上のばあちゃん達が働ける会社で、ばあちゃん達の昔ながらの味で食と料理を商品・サービス化した『ばあちゃん飯』、『ばあちゃん新聞』等をメインに活躍の場をつくる会社。保護ではなく働く機会を創出し、経済活動で高齢者に生き甲斐と収入をつくる。高齢者の方が話すには『誰かの役に、社会の役に立ちたい』。その働きで月2〜3万円程でも収入が得られる事はやり甲斐や、生き甲斐に繋がるようだ。高鍋町でも行政と民間が協力しこのような事業に取り組めたらと思う。

※他、たかしんホール及び美術館などの利用状況とロビーの利用方法についても質問しました。

な返礼品の登録や新規開拓などに取り組んでいきたい。

海岸にある避難誘導看板

ひだか まさのり 議員



問 幸せを実感できる町を目指すところがあるが、どのように実現していくのか。

町長 農畜産業が豊かになってこそ商工業は潤い町は元気になるという理念の下、まちづくりを推進していく。町民との対話集を開く計画は考えているのか。

行政事務連絡員会、各団体が開催される会合や行事等の機会を活用して町民の皆様等と積極的に意見交換を行っているので、対話集を開く計画はできないと考えている。

問 目指すべき町の姿をつくるために町民の方々の協力をどのように得るのか。

町長 各種の計画策定の際にも関係団体の代表者や公募により選考された町民の方にご協力を頂いている。これからも共に取り組んでいきたいと考えている。

◆ふるさと納税について

問 本町のふるさと納税について、どのように認識されているのか。

町長 令和元年から年間寄附額が前年度比20%から30%減で推移している。返礼品の開発に取り組み、ふるさと納税の寄付先として選んでいただける魅力あるまちづくりに尽力してまいりたいと考えている。

問 町政運営面での影響はあるのか。

課長 長期的な視点に立てば、ふるさと納税は既存事業の拡大や新規事業の着手の契機になりえる。ふるさと納税の寄付金額が少なくな

るならば、ふるさとづくり基金の積立額が減ることになるので、将来的には活用している事業に影響が出てくることも考えられる。

問 事業者支援について、どのように対応されているのか。

課長 事業者を対象とした勉強会又は、事業者への訪問など、今年度は新たにクラウドファンディング型のふるさと納税に取り組んだ。

問 今後のふるさと納税の取り組みは、



第6次高鍋町総合計画概念図

Question 「2050年に向けた高鍋町の目指すビジョンは」「活気あふれるまちづくりの実現」

Answer



古川 誠議員

問 高鍋町はキヤノン誘致の際に、約15億円使っている。誘致から数年しか経たず、また同じような規模の投資を行うのは無理ではないか。次の世代の子どもたちに負担を迫らせることにならないか。

町長 橋を造ることは、生活する上で極めて重要。

問 新たな基金を設置し、お金が溜まってから造るといって選んでは。

財政経営課長 防衛省補助で行う予定だが、地方債（借金）を起した

問 基金は設置しない。

問 起債（借金）をして事業を行う理由は、現在の町民と将来の町民の負担を公平にすること。今のやり方では、工事終了後に高鍋町

に来た人は1円も負担することがない。また、工事期間中、工事費を一般会計から支出するのは無理だと思うが。

町長 高鍋町の財政指数は決して悪くない。

意見 高鍋町が何かをやめる代わりに竹鳩橋を架けるのならば、何ひとつやめられない状況。今のままで工事費を捻出することは到底無理だと思う。

問 高鍋高校・高鍋農業高校への支援について

問 現在の両校への支援状況は、

地域政策課長 高鍋高校は、1年生の教育アプリ導入費用の約134万円の助成、ラグビー部の全国大会出場時に特別後援会に50万円の補助など。農業高校へは、農業教育の充実を図るため、



がんばれ高校生

Question 「農業は高鍋町の担い手産業として」「夢と希望が持てる農業のまちづくり」

Answer



森崎英明議員

問 高鍋町のみどりの食料システム戦略目標は設定されているのか。

農業政策課長 全国の有機農業取り組み割合を現在の耕地面積の25パーセント、およそ100万ヘクタールと設定されているので本町としても365ヘクタールが、2050年の目的数値となる。

問 みどりの食料システム戦略の優遇される補助金・交付金について。

農業政策課長 交付金については有機農業の生産・加工・流通における総合的な取り組みへの補助、学校給食における有機農作物の活用への補助、有機農業普及、啓発を行うイベントへの補助がある。

問 JAが、宮崎県農業協同組合として変わるがどのように

教育総務課長 今回、中学校の無償化に伴い町単独予算を計上しているが、国の補助金等一切なく、県に対しても無償化に取り組み自治体への独自の支援を求めるなどして、早急に小学校についても無償化実現できるように努めていきたい。

問 高鍋町の農業振興について

問 高鍋町の農業の10年後その先を見据えた農業をどのように考えているか。

町長 農業従事者は2000年より20年間で、240万人から136万人に減少しており、今後農業従事者の増加は見込まれない。それを踏まえ本町として、10年後の従事者の減少・持続的な農業の対応する為スマート農業等にも積極的に取り組んでいきたい。

問 高鍋町の農業の10年後その先を見据えた農業をどのように考えているか。

町長 農業やJAを取り巻く情勢は悪化していると聞いている。今後10年で、更なる厳しい環境の変化が想定されると思うがJAの合併により農業の生産基盤やJA組織基盤の強化を図られ、組合の営農活動の継続に繋がるものと認識している。



広大なキャベツ畑

Question 「持続可能な自治体運営とは」「安定的な行政運営を継続すること」

Answer



松岡信博議員

問 企業誘致の投資は8年間で16企業30億円。しかし、人口減少は止まらない。財源も増加せず補助金の回収さえ難しい。経済効果や波及効果もなく人手不足。町民に公共の利益公益性はないと考えるが。

町長 他町村に負けない企業誘致活動は、高鍋町の発展に必要。

問 町民に公益性のない固定資産の課税免除を繰り返している。町民は町が決めた税額を納税。町民と平等性に欠ける条例は廃止すべき。

町長 高鍋町では1000万円以上の設備投資が出来る企業は限られており、全国自治体で条例は認められている。

問 令和6年度には固定資産税が1億6千万円増えるというが、地方交付税の仕組みで4千万円しか財源増加にならない。投資した30億円を取り戻すには75年かかってしまう。企業誘致を繰り返す不利益な

町長 減額する考えはない。

意見 今回の一般質問で分かった事は、2040年問題対策どころか、町民のための政策の財源も確保できず、借金や過度な「ふるさと納税」に頼り、その場しのぎの財政運営に見える。町長は厳しい財政に向き合おうとせず、「竹鳩橋建設」という政治効果を優先するため、また、多額の借金をしようとしている。このままでは、高鍋町の将来の「財政危機」は避けられない。自治体の「財政破綻」とは違う。一般的な「破産」とは違う。銀行の借入返済を優先するあまり町民サービスが低下することを言う。黒木町長は、危機感を持って「持続可能」な行政運営のため抜本的な「財政改革」「歳出削減」に取り組むよう注意喚起を行う。

昨年12月には宮崎カープエリート及び神戸での販売会にも参加したが、高鍋町魅力ある農業教育推進協議会の活動経費として約105万円を助成している。

問 さまざまな問題解決の支援、全国大会出場の際の金銭的な支援など町として取り組むべきでは。

町長 両校については、本町の未来を支える重要な教育資源であると認識している。抱える課題等にとどのような支援が可能か協議を重ねていく。

条例を改正しないまま高鍋町を財政難に陥らせた町長の責任は重い。

町長 企業誘致で得られる効果は、町の発展や住民福祉の向上に大きく寄与している。投資した30億円をどのように回収するのか具体的な金額は。

町長 従業員給与や固定資産税や働いて納める税等の計算は的確に出すことは難しい。観光協会の補助金年間870万円の必要性や検証を行い縮減するべきでは。

町長 農業従事者は2000年より20年間で、240万人から136万人に減少しており、今後農業従事者の増加は見込まれない。それを踏まえ本町として、10年後の従事者の減少・持続的な農業の対応する為スマート農業等にも積極的に取り組んでいきたい。

町長 農業やJAを取り巻く情勢は悪化していると聞いている。今後10年で、更なる厳しい環境の変化が想定されると思うがJAの合併により農業の生産基盤やJA組織基盤の強化を図られ、組合の営農活動の継続に繋がるものと認識している。

町長 農業やJAを取り巻く情勢は悪化していると聞いている。今後10年で、更なる厳しい環境の変化が想定されると思うがJAの合併により農業の生産基盤やJA組織基盤の強化を図られ、組合の営農活動の継続に繋がるものと認識している。

「竹鳩橋の架け替えの現状は」

「事業に向け準備をすすめる」

Answer

はるなり
春成 勇 議員



竹鳩橋は昭和34年に作られ65年が経過している。工費は相当かかると思うが、長期的なビジョンを持って推し進めてもらいたい。

町長 防衛省補助のレスキュー道路として事業採決していただけるよう準備を進めている。

町長 帯状疱疹ワクチン接種費、助成の推進は。

町長 定期接種化の検討を宮崎県町村会を通じて、今年度、国

に要望しワケチンの議論を踏まえながら町独自の補助を検討する。

問 人口減少に伴い空き家・空き地が増えてくると思われる。問題解決の為、専門家の対策課を設けてはどうか。

町長 町としては、窓口を建設管理課一つに置き、早期に問題解決が図られるようにしたい。新たな対策課の設置は事業ごとに関係法令が違いため、難しいと思う。

問 最近では建設工事設計委託費及び追加工事が多いように見受けられる。その中で、西中学校の浄化槽工事が設計委託料が158万で委託され、その後工事の参加業者が設計の不備を指摘し、入札を取り下げられて、議案が廃案になった。その後、委託業者を変更し、また、宮崎県建設技術推進機構も業務

委託をして、二重の設計委託をしており契約額が8020万。設計委託が合計1685万を支払い、また、追加工事が390万が支払われている。ほかに、給食センターの空調の工事契約はいくらか。

教育総務課長 契約額が3716万円で追加工事が509万6000円。東小中学校の空調の工事契約はいくらか。

意見 職員や設計業務委託者は現場をしっかりと見て、追加が出ないようにやっていたら

もり
森 弘道 議員



街並み景観の再生、活性化をどう図っていくのか。

町長 長期的なビジョンで町を再生し、城下町としての姿を取り戻すため、やり続けることが大事だと思う。新たな商店街の方向性としては、歩きたくなるような並みにするを基本的な視点で取組む。

問 地場産業として位置付けて取り組んでいくものは。

町長 物価高の流れの中で、賃金の上昇や人材不足など、色々な話を聞くことが多い。女性登用やジェンダー平等などに積極的に取り組んでいただくようお願いしていく。

「施政方針の未達成項目の取組みは」

Answer

その達成を目指し、今後も継続して取組んでいく

地域政策課長 本町の特産品であるキャベツを原料とするギョーザは、老舗の専門店を中心に協議会を組織し、認知度の向上を図る活動を展開されている。町も連携協定を締結し支援している。

問 宮崎県の直面している大きな課題が、女性の県外流出だと指摘されている。女性の働く場所が少ないこと、賃金が男性の7割程度しかないことなどが要因である。町長は、町内の雇用状況をどう把握しているか。

町長 物価高の流れの中で、賃金の上昇や人材不足など、色々な話を聞くことが多い。女性登用やジェンダー平等などに積極的に取り組んでいただくようお願いしていく。

問 側溝を敷設することで拡張できる道路も多いのでは。

建設管理課長 把握していないが、個別設計計画等を見直しながらインフラ整備を進めていく。

問 キヤノンの誘致計画では、従業員数が1500人に増えるとなっていたが。

地域政策課長 令和6年3月1日現在の従業員数は874人、うち高鍋町内居住者は247人、28%となっている。

問 移住・定住には移住者と地域を繋ぐ仕組みづくり・移住者の声を聴く交流の場が必要と思うが。

地域政策課長 地域活動の紹介関係の構築など、移住された後のフォローアップを積極的に行いたい。

問 移住・定住には移住者と地域を繋ぐ仕組みづくり・移住者の声を聴く交流の場が必要と思うが。

建設管理課長 把握していないが、個別設計計画等を見直しながらインフラ整備を進めていく。

問 キヤノンの誘致計画では、従業員数が1500人に増えるとなっていたが。

地域政策課長 令和6年3月1日現在の従業員数は874人、うち高鍋町内居住者は247人、28%となっている。

「県無形民俗文化財高鍋神楽への支援策は」

「夜神楽開催の情報の提供が非常に大事」

問 園児の体と心の成長に必要な園庭の遊具、これの充実は検討されないか。

副町長 行政需要と行政事務量の増加については認識しているが、人員不足が常態化している。今後は、遊具の必要性等について検討していきたい。

問 役場の業務量に比べて、それをこなすに十分な人材が不足している。執行部も人員不足が常態化していることを認識しているのでは。

福祉課長 御指摘のとおり、遊具が減少している。今後、遊具の必要性等について検討していきたい。

建設管理課長 なぜ舗装をしなかったのか。口蹄疫の時に飲料水が飲めなくなると水道管を布設した経緯がある。その後、舗装工事をやっていない。何故できなかったのか。

問 高鍋神楽情報提供支援策の具体案はあるのか。

町長 夜神楽開催時の太鼓等の音が騒音だと、警察に通報があったことも承知している。高鍋神楽保存会等と連携し、伝統的なこととして受け入れてもらうこととの御案内と共に、夜神楽継続に向け、広く町民の方に理解してもらえ、広報活動を実施する。

問 固定資産税は、課税免除期間が終了し、増収となると聞いている。法人町民税については、法人の生産額が伸びれば、単純に法人の税収も少しは伸びると思われのだが、伸びていない理由は。

要望 収入に合わせて支出を考えなさいという「一人を量り出すを制す」のことばど

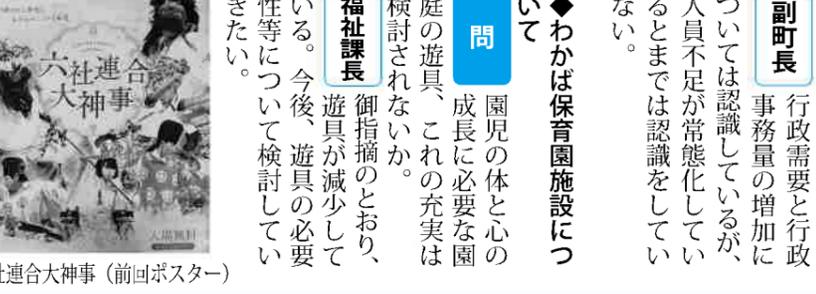
町長 高鍋神楽情報提供支援策の具体案はあるのか。



口蹄疫の時水道管布設の後の未舗装 (太平寺地区)



側溝



6社連合大神事 (前回ポスター)